

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ワンハート		
○保護者評価実施期間	R7年 2月 10日 ~ R7年 2月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	R7年 2月 1日 ~ R7年 2月 15日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 3月 18日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われるごと ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育園や幼稚園と連携を取り合い、しっかりとコミュニケーションを取ることができている。	幼稚園・保育園と連絡を密に取り合う。顔の見える関係作りを意識している。	訪問する園を増やしていく。 お互いに訪問しあって、利用児の姿を直接見てもらえるよう働きかける。
2	職員同士が積極的にコミュニケーションを取り、みんなで活動や取り組みを考えている。	朝礼や職員会議で利用児の姿を話し合いながら、活動や自立課題を決めている。	個別支援計画を参照しながら、その子にとってより良い支援をみんなで考えていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われるごと ※事業所の課題や改善が必要だと思われるごと	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員会議での情報共有が取りにくい職員がいる。	職員会議ができる時間が限られているので、アルバイトさんやパートさんなど勤務時間が限られている方への情報の共有や個別支援計画の共有の仕方など工夫が必要。	全体職員会議の他、各自時間を持ってもらい情報共有を行うようにする。
2	地域と事業所のつながりが弱い。	地域での取り組みに参加できる機会や地域を巻き込んでのイベントなどが少ない。	地域での取り組みを探して積極的に参加する。
3			